

公益財団法人大原記念労働科学研究所
利益相反審査結果報告書

平成 28 年 4 月 25 日

公益財団法人大原記念労働科学研究所 所長 殿

研究倫理審査委員会委員長

木村 菊二 印

受付番号 16-002

研究課題 経済情勢等が労働災害発生動向に及ぼす影響等に関する研究：多変量時系列解析による検証

研究者 松田 文子

(1) 研究計画書に記載している利益相反についての説明内容は妥当か

妥当である 妥当でない

妥当でないとした理由：

(2) 被験者用説明書の当該研究に関する利益相反についての説明内容は妥当か

妥当である 妥当でない

妥当でないとした理由、修正点：

(3) 各研究者の利益相反状態

問題ない 指導・勧告が必要である

指導・勧告を必要とする対象者の氏名：

倫理震災委員会からの勧告内容

- ① 経済的な利益関係の一般への開示
- ② 独立した評価者による研究のモニタリング
- ③ 研究計画の修正（具体的箇所： _____）
- ④ 利益相反の状態にある研究者の研究への参加形態の変更
- ⑤ 当該研究への参加の取りやめ
- ⑥ 経済的な利益の放棄
- ⑦ 利益相反関係を生み出す関係の分離
- ⑧ その他（ _____ ）

勧告の理由：

以上より、本調査研究に係る利益相反については、下記のとおり審議・決定する。

問題ない

上記の指摘部分について、修正・変更を勧告する。

公益財団法人大原記念労働科学研究所
利益相反審査結果通知書

平成 28 年 4 月 25 日

申請者 松田 文子 殿

公益財団法人大原記念労働科学研究所所長

酒井 一博 印

受付番号 16-002

研究課題 経済情勢等が労働災害発生動向に及ぼす影響等に関する研究：多変量時系列解析による検証

研究者 松田 文子

(1)研究計画書に記載している利益相反についての説明内容は妥当か

妥当である 妥当でない

妥当でないとした理由：

(2)被験者用説明書の当該研究に関する利益相反についての説明内容は妥当か

妥当である 妥当でない

妥当でないとした理由、修正点：

(3)各研究者の利益相反状態

問題ない 指導・勧告が必要である

指導・勧告を必要とする対象者の氏名：

倫理震災委員会からの勧告内容

- ① 経済的な利益関係の一般への開示
- ② 独立した評価者による研究のモニタリング
- ③ 研究計画の修正（具体的箇所： _____)
- ④ 利益相反の状態にある研究者の研究への参加形態の変更
- ⑤ 当該研究への参加の取りやめ
- ⑥ 経済的な利益の放棄
- ⑦ 利益相反関係を生み出す関係の分離
- ⑧ その他（ _____)

勧告の理由：

以上より、本調査研究に係る利益相反については、下記のとおり審議・決定する。

問題ない

上記の指摘部分について、修正・変更を勧告する。